

令和5年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
東京ITプログラミング&会計専門学校仙台校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価委員会が作成した「令和4年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。
その結果を以下の通り報告いたします。

1. 令和5年度学校関係者評価委員会

<委員> (五十音順)

青野 也寸志 氏	宮城県立支援学校岩沼高等学園 教諭
柿田 光太郎 氏	リコージャパン株式会社 マーケティング本部 宮城支社 第一営業部 アシスタントマネージャー
中嶋 竜大 氏	株式会社ナナイロ 代表取締役社長
難波 奈緒 氏	株式会社ステージライン 専務取締役 法人研修部部長
山内 正貴 氏	太陽有限責任監査法人 東北事務所

<事務局>

木村 昌昭	東京ITプログラミング&会計専門学校仙台校 校長
柏葉 保宏	東京ITプログラミング&会計専門学校仙台校 教務部課長
鈴木 祐一	東京ITプログラミング&会計専門学校仙台校 教務部課長
千枝 達也	東京ITプログラミング&会計専門学校仙台校 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p>イ. 教育理念、目的、育成人材像について定められているか</p> <p>目的及び育成人材像については、学則第1条に明確に定めており、ホームページにも公開をしている。学園の目標として「学生から信頼され支持される学校づくり」を掲げ教職員一丸となり取り組んでいる。</p> <p>(意見) 目標が非常にわかりやすく明示され、各種試験の実績の裏付けもあり、適切であると言える。</p> <p>ロ. 学校における職業教育の特色は何か</p> <p>本学独自のゼミ学習で勉学を進めることによって国家試験、検定試験の高い合格実績や就職実績、およびコミュニケーション能力、協調性を育んだ。このことは、入学希望者にもオープンキャンパスなどでわかりやすく説明している。</p>

	<p>(意見) ゼミ学習による効果や就職実績や検定試験実績なども明確であり、またオープンキャンパスで理解を得たうえで入学に結び付けている点から考えても、適切であると言える。</p> <p>ハ. 理念、目的、育成人材像、特色が学生や保護者などに周知されているか ホームページ掲載や教務室、事務室、受付での掲示、オープンキャンパスなどでの説明で周知している。</p> <p>(意見) ホームページの情報公開や学校内の掲示物も徹底されており、周知されているため、問題ない。</p> <p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は業界ニーズに向けられているか ゼミ学習を通じて明るい学園生活と高い資格合格実績、就職実績が両立している。学内就職セミナーのアンケートや教育課程編成委員会を通じて実社会の方々の意見を取り入れカリキュラム編成を常に考察している。</p> <p>(意見) 資格だけでなく、就職実績も 99%を超えているため、適切でよいと考える。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目的に沿った運営方針が策定されているか 本学では「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標とし、学校運営をしている。この基本目標は教務室、事務室、受付などで学生からもよく見える場所に掲示してある。</p> <p>(意見) 基本目標が職員全員に周知されているようなので適切であると言える。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化され機能しているか 運営組織図があり、各部署の役割と権限、人的体制が十分整っている。</p> <p>(意見) システム化され、機能していることが成果に結びついていると考えられ、適切であると言える。</p> <p>ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか 人事や賃金についての制度は、採用制度、昇進・昇給制度など人事考課制度が整備されている。人材の確保と育成は令和元年度よりプロジェクトを立ち上げ、今後も改善を行っていく。</p> <p>(意見) 実績の向上に伴う昇給や昇進等の人事考課制度について、今後も改善を行っていくという意味であるなら、ほぼ妥当であると言える。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか 日常的な意思決定は各校管理職が行っている。学校間の調整は運営本部や部次長会議で決定している。</p> <p>(意見) 全国に学校が存在する中で、統一した運営がされているということは十分適切である。</p> <p>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか 合格・就職・キャンパスライフの3本柱を充実させ実績をホームページで公開している。さらに本人了承のもと氏名や出身高校名を記載した合格速報なども配布しており、入学者へのアンケートを見ると、志望者や保護者が判断する際にも役立っている。</p>

	<p>(意見) 情報の公開についても配布物、ホームページなどで合格者のインタビューも公開されており、情報は充実していると感じられるため適切である。</p> <p>へ. 情報システム化などによる業務の効率化が図られているか</p> <p>学務システム、経理システムを個々に運用し学生管理を効率化している。求人情報についてもデータベース化を行い、学生への速やかな情報伝達を行っている。また、学務システムについては VPN を全拠点で結んでいるためセキュリティについては強固なものを採用するだけでなく、使用できるパソコンを特定し ID、パスワードによりアクセス制限も行い運用している。</p> <p>(意見) システムは効率化されており適切であると言える。ただ、効率化については都度アップデートが必要なため、見直しを忘れないようにして欲しい。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>カリキュラム作成委員会を開催し、教育課程編成委員会での意見を踏まえて作成している。定期的な見直しと、時代に合ったものを実施できるようにしている。</p> <p>(意見) 外部委員の意見も取り入れながら、ゼミ学習などによるコミュニケーション能力の向上といった、人間性の育成という教育理念にも力を入れていることがわかり、適切であると言える。</p> <p>ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</p> <p>学内就職セミナーで企業からのアンケート回答を基に「社会が求める人材像」を学生に明示。そのうえで多岐にわたる業界や職種の人材ニーズに対応できる教育を実践し、各学科とも修業年限でそのレベルに達するようにしている。</p> <p>(意見) 企業へのヒアリングを授業に反映させ、ホームページにもシラバスによりしっかり明示されているため、適切であると言える。</p> <p>ハ. 学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>年2回開催する教育課程編成委員会で外部委員の意見を参考にカリキュラム作成委員会において、社会ニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成し、定期的に見直しも行っている。</p> <p>(意見) カリキュラムについてしっかりと見直しを行い対応されているので問題ない。</p> <p>ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか</p> <p>本学の基本的な教育方法であるゼミ学習を基に、専門知識のほかにもビジネスマナーや、職業実践専門課程制度認定校として企業等との連携した実践的な演習、および企業の人事担当者による学内就職セミナーを実施し、学生の意識づけをしているが、その方法の検証は継続していく必要がある。</p> <p>(意見) ほぼ適切とされているが、これを適切としてしまうともう改善の余地がないということになってしまうという意味で評価を下げたと感じる。その意識</p>

	<p>が妥当であると言える。</p> <p>ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか</p> <p>授業運営の適否を判断、見直しをするために学生による授業評価アンケートを実施している。また教育課程編成委員会での外部委員の意見を取り入れている。</p> <p>(意見) 学生へのアンケートを実施した結果が活かされており、外部の方からの意見を取り入れるなど様々な角度から評価を受けており適切といえる。</p> <p>ヘ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか</p> <p>学則・学生便覧に単位認定試験を行い、成績付与を行うことを明示しており、成績評価・単位認定の基準を明確にしている。</p> <p>(意見) 学則や専門課程便覧にも詳細が記載されており、基準が明確になっているので適切であると言える。</p> <p>ト. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</p> <p>学科ごとに目標とする資格・試験を明確に定め、合格がより確実なものになるようカリキュラム編成をしている。</p> <p>(意見) 一般的に「難関資格」といわれる試験について素晴らしい成果が見て取れる。カリキュラムが体系的で現状の指導体制で適切であると言える。</p> <p>チ. 人材育成目標に向け、授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか</p> <p>人材育成目標に向け、専門性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保は、十分ではないが現状できている。</p> <p>(意見) 人材の確保については十分でないところを、向上させる余地はあるが、現段階で資格・就職に影響が出ておらず、今後も継続して人材を求め続けていくなら、ほぼ適切として問題ない。</p> <p>リ. 職員の能力開発のための研修などが行われているか</p> <p>専門性、人間性、教授力等の要件を備えた教員は確保できている。しかし、常に教員のレベルアップを図るため、年間を通じての自己啓発や外部企業と連携して実施する研修で最新の情報を取り入れるようにしている。</p> <p><各学科で実施している教員研修の紹介></p> <p>(意見) ほぼ適切とされているが、適切でよいと感じる。授業を行うには知識が必要だと思われるので、今後も研修内容を職員間で共有し授業に役立ててほしい。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p><会計学科：資格取得実績・就職実績の紹介></p> <p>(意見) 仙台校から公認会計士を今後も多く輩出していただきたい。</p> <p><経理・情報研究学科：資格取得実績・就職実績の紹介></p> <p>(意見) 難易度の高い試験に合格者を出すことは夢があるので、今後の指導体制においても良い方向にいくのではないかと思う。</p> <p><IT ビジネス学科：資格取得実績・就職実績の紹介></p> <p>(意見) 就職希望者に対する就職率 100%は素晴らしい。また、基本情報の試験は</p>

	<p>実際に実務を経験している大学出身のプログラマでもなかなか合格できない試験だが、それを高い合格率で学生に取得させている点も素晴らしい。</p> <p><ビジネス学科：資格取得実績・就職実績の紹介></p> <p>(意見) 就職率の高さも素晴らしいが、国家試験の合格率が全体の合格率の約2倍の合格率という成果はとても素晴らしいと感じる。</p> <p>イ. 就職率の向上が図られているか</p> <p>入学直後の新入生就職セミナーを初め、年間スケジュールとして就職指導を行っている。</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>資格取得に関しても毎年の傾向と対策を綿密なカリキュラム会議にて決定し、姉妹校と協力体制をとり指導法を決定している。</p> <p>ハ. 退学率の低減が図られているか</p> <p>一人も退学者を出すことなく卒業を迎えることが最終目標となるので、担任をはじめ教員全体で学生に目を配り、声をかけている。欠席した学生には担任が電話することにより長期の欠席にならないようにしたり、学生相談室を設け、担任以外にも相談できるようにしている。</p> <p>(意見) 就職率は他の学校と比べても素晴らしい。学生が求めている業界・企業とマッチさせている。資格取得も難関の試験を合格させているので適切である。また退学率をゼロにするのは大変難しいと思うが努力しているのは十分わかる。丁寧な指導をこれからも続けてほしい。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>就職相談室を設け、就職担当者及びクラス担任が学生の就職相談、指導を行っている。また、企業の人事担当を招き学内就職セミナーを実施している。</p> <p>学生は、いろいろな悩みを持っており、担任のほかにも、学生相談室に相談できる体制をとっている。</p> <p>(意見) 担任だけでなく、多段階の体制で学生をフォローしている点は素晴らしい。</p> <p>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>東日本大震災による学費免除制度や各種奨学金制度、また特別奨学生制度を設けており、奨学金はすべて貸与ではなく給付としている。</p> <p>(意見) これだけの特待生制度、奨学生制度があれば適切である。</p> <p>ニ. 学生の健康を担う管理体制はあるか</p> <p>学校保健安全法に基づき健康診断を全学生に実施している。また、指定病院が学生の健康相談に応じている。</p> <p>(意見) 健康診断の実施、指定病院での健康相談等が整っていればよい。</p> <p>ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>例年、各種部活動や学校行事などの課外活動に対しては積極的に支援し活発に行われている。学生主体で実施し、教員が助言指導をしている。</p> <p>(意見) ここ数年のコロナの状況では致し方ない。今後はクラブ活動など元に戻っ</p>

	<p>ていってほしい。</p> <p>へ. 学生の生活環境への支援は行われているか 遠隔地出身者のために提携している学生寮を紹介し、安心して学生生活が送れるよう支援をしている。 (意見) 現状の提携学生寮の案内をホームページや冊子等で行っており安心して進学先を考えられることができ、適切である。</p> <p>ト. 保護者と適切に連携しているか 保護者に対しては年4回、出席・成績状況・相談室のお知らせを送付、必要に応じて面談をしている。 (意見) 学生にとってはプレッシャーかもしれないが、保護者との連携は必要。現状の回数等を含めて適切な状況である。</p> <p>チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか (意見) さらに連携をしていく余地があるうえでのほぼ適切であるという評価であれば適切に思う。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>ロ. 防災に対する体制は整備されているか 設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置しており、維持管理については定期的な点検整備を行っているため、学生に教育上支障がないよう整備されている。また、防火管理者を定め、防災訓練を実施し、防災への意識喚起を行っている。 (意見) ニーズ、災害に対して完璧は無いという事での、ほぼ適切であるという評価なので問題ない。なお、現在注目されている対話型AIの利用について、ガイドラインを整備しておくべきと考える。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ. 学生募集活動は適正に行われているか</p> <p>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか 本学ではAO入学のエントリーを7月からと定めていることから適正に行っている。募集活動の際も公認会計士試験、税理士試験、情報処理技術者試験などの高度な試験においては本人の了承を得て、出身校名・氏名を掲載している。入学後のアンケートでも、教育成果が進路決定に大きく役に立ったと、回答を得ている。学納金に関しては学校の財政基盤の問題が出ないように適正かつ妥当な金額に設定している。 (意見) イ、ロは募集活動を行う上で、実績の数字が伝わりやすくわかりやすい。ハは他校や大学とのバランスという観点からであれば問題ない。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> <p>ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</p>

	<p>財務については、学園全体として学園本部で決定している。予算の編成については経理規程を定めており、適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。会計監査についても監事2名が事前説明を受けて監査を実行している。これらの報告については私立学校法に基づき公開している。</p> <p>(意見) 会計監査はかなり厳しく行い、財務情報はホームページに公開し誰でも閲覧できる状況であり、適切であると考え。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>イ. 法令、専修学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>各種法令遵守に関する研修への参加や資料配布、および毎年の人権研修を実施している。法令遵守規定があり、法令遵守推進管理者をおいて法令遵守の推進を図っている。</p> <p>(意見) 財務と同じく厳しい設置基準に基づいて運営されており、法令遵守について管理体制を整えているため、適切である。</p> <p>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか</p> <p>個人情報の取り扱いについては個人情報保護規程、プライバシーポリシーを設定している。合格情報や就職情報として学生氏名や出身校名を出す場合には本人の承諾を得てから取り扱っている。また学校が保有する学生の個人情報の取り扱いを外部業者に委託する場合には、個人情報保護に関する文書の提出を義務付けている。</p> <p>(意見) 説明通りの措置をとっているのであれば法人としては問題ないであろう。適切ではないかと考える。なお、学生個人のSNSの利用については注意が必要である。</p> <p>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>ニ. 自己評価結果を公開しているか</p> <p>自己点検・自己評価委員会を設置し、点検・評価を行いその結果についてホームページで公開している。</p> <p>(意見) 今後も改善の必要のあるものは変えていくということであれば問題はないため適切である。</p>
<p>基準10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>ロ. 学生ボランティア活動を奨励、支援しているか</p> <p>ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>地域社会へのボランティア活動を奨励し、支援している。近隣の館外清掃をしておりとても好評である。地域の状況に応じて、社会貢献・地域貢献などが出来ているかと思う。今後さらに改善が必要かと考えている。</p> <p>(意見) 毎年同じではなくさまざまなことがあると思うため、今後も新たな取り組みなどを試みてほしいと考える。</p>

総括

1. 立志舎の卒業生が社会で活躍されていることはよく知っている。引き続き社会に貢献できる人材育成に力を入れていただきたい。
2. 学園の方針・理念を知ることができ非常にいい機会になった。公認会計士試験合格者を輩出し、御校の指導で社会に受け入れられる実務力を持った学生が当法人でもいち早く仕事を覚え活躍している。今後も資格合格実績・就職実績の更なる向上を願っている。
3. 会社で働くためには学生時代に学んだ専門知識だけではなく、周囲とコミュニケーションを取ることがとても大切になってくる。先生方には時には社会の厳しさも学生たちに教えていただきたい。
4. IT業界は現状として人材が不足している。企業が期待する人材の輩出に貢献していただきたい。就職活動において企業側のニーズをしっかりと捉えることが重要だと学生に伝えてほしい。
5. 御校の教育方針としてコミュニケーション能力・積極性等に力を入れていることが分かった。社会では専門知識・技術も必要ではあるが、人と人のコミュニケーションが大事になるのではないか。引き続き人間性の涵養にも注力していただきたい。